

福井県公安委員会 開催概要

令和2年7月30日開催 「定例公安委員会」



会議状況

1 事務概況報告

県警察から小浜警察署の業務推進状況等について報告があった。

2 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 政治団体に対する政治資金規正法違反事件の検挙

県警察から、本年7月日政治団体に対する政治資金規正法違反事件被疑者の検挙について報告があった。

委員から「警察本部と警察署との連携により検挙にまで至ったことは非常に良かったと思う。各企業に向けての啓発活動は非常に重要だと思うので、今後も是非お願いしたい。」との発言があった。

委員から「反社会勢力団体からの不当請求を断つためにも、企業に対して対応マニュアルの周知を図っていくことも必要かと思う。」との発言があった。

委員から「団体を解散に追い込んだということで、捜査員の方々は大変苦労したと思う。企業への啓発活動も、反社会勢力から企業を守るひとつの手段として有効だと思う。」との発言があった。

(2) 行方不明者発見活動の状況

県警察から、福井県における行方不明者届出の受理並びに発見活動の状況について報告があった。

委員から「行方不明者の殆どが、受理から1週間以内に所在確認ができていることは大変良いことだと思う。これからもリュウピーネット等の警察独自のものや大きなネットワークをフルに活用し、機動性を高めて発見に努めてほしい。」との発言があった。

委員から「高齢者は発見が遅れると死に至る場合も多いので、早期発見が重要になってくる。防犯隊などの関係団体や関係機関と連携をとりながらしっかりと対応していただきたい。」との発言があった。

委員から「1年間の行方不明者の多さに驚いている。その殆どが早期発見されている

ことは、生活安全部を中心に努力されている結果だと思う。今後も引き続き頑張っていたきたい。」との発言があった。

(3) 夏の交通安全県民運動の実施結果

県警察から、7月11日から実施した夏の交通安全県民運動の実施結果について報告があった。

委員から「人身事故の件数や交通指導取締りの件数をみても、県民運動は非常に効果があったと思う。新型コロナウイルス感染症の影響でこれから夏休みに入り子供達も外出する機会が増えるので、今後も対策の推進をお願いしたい。」との発言があった。

委員から「先般もシートベルト非着用の死亡事故が発生しており、シートベルトの着用率向上は今後非常に大切な取組目標になっていくのではないかと思う。運動期間中の結果をしっかりと精査し、次に活かしていただきたい。」との発言があった。

委員から「『信号機のない横断歩道における歩行者優先』という全国調査によると、福井県は上位とはいえない結果だったように思う。歩行者の横断歩道での事故を防ぐためにも、交通安全教育、交通安全広報、交差点違反取締りをしっかり取り組んでいっていただきたい。」との発言があった。

3 個別決裁等

(1) 条例改正に伴うパブリックコメントに対する回答

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部改正に伴い実施した、県民パブリックコメントにおける提出意見に対する県警察の回答について説明を受けた。

(2) 警察職員の援助要求

18都府県の公安委員会に要請していた警察職員の援助要求について、各都府県公安委員会より受託を得たことについて報告を受け、これを決裁した。

4 運転免許の処分関係

本日（7月30日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取6件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。